11/27(水)
読売新聞(朝刊)

子どもたちと生演奏

◆野田◆ 川間地区子ども会育成者連絡協議会（染谷正司会長）はこのほど、市立尾崎小学校（尾崎）で「川子連まつり」を開いた。

埼玉県川口市の市立川口高吹奏楽部OBで作るアマバンド「ニュー・ノーツ・オーケストラ」が、ブレザーにチョウネクタイ姿で計二十曲を演奏した。「ブラジル」「テキーラ」の演奏では、空き缶で作ったマラカスを子供たちが合奏する場面も。

オーケストラの生演奏は初めての子供も多く、「生で聴くと迫力がある」と、手拍子を打ったりしながら聴き入っていた。

子供と一緒に演奏

平成8年11月24日(日)
千葉県野田市
川間子ども会
出演記事

11/30(土) 千葉日報(朝刊)

アマバンドが熱演

野田・「川子連まつり」 空き缶楽器で共演

野田市の川間地区子ども会育成連絡協議会（染谷正司会長）による「川子連まつり」がこのほど市立尾崎小体育館で開かれ、アマチュアバンドが子供たちと共演、まつりを盛り上げた。

バンドは埼玉県の市立川口高吹奏楽部OBでつくるジャズの本格派フルバンド「ニュー・ノーツ・オーケストラ」。公務員や建築士、運転手といったユニークなメンバーで、各地で福祉施設の慰問など二十七年間にわたり演奏活動を続けている。

まつりのステージでは「オリーブの首飾り」や「A列車で行こう」などスタンダードナンバーを含む全二十曲を披露。ラテンソングでは子供たちが空き缶製のマラカスを手にバンドと共演、観客たちから大きな拍手を浴びていた。

マラカスを手に子供たちも生演奏に参加

子供たちも加わり楽しい演奏会＝野田市で

まいたうん

地域の祭りにフルバンド

野田 川間地区子ども会育成者連絡協議会（染谷正司会長）がこのほど開いた「川子連まつり」に、埼玉県川口市のアマチュアフルバンド「ニュー・ノーツ・オーケストラ」が出演し、まつりを盛り上げた。

建築士や調理師、タクシー運転手、銀行員、主婦らがメンバーの同オーケストラは二十七年の活動歴があり、スタンダード・ジャズが専門。「手弁当でもかまわない」という音楽好きの集団で、身障者施設や老人ホームなどの慰問演奏にも出かける。尾崎小体育館で開かれた生演奏に、子供たちも空き缶利用のマラカスを持って加わり、〝合同演奏〟を楽しんだ。校庭では犬のしつけ教室なども開かれた。

東京新聞 11/27

12/4 産経新聞(朝)

たうんファイル

空き缶マラカス登場

川子連まつり

野田 市内川間地区の八つの子ども会が集まり、親ぼくを深めるのを目的に年一回開かれている川子連まつりがこのほど、市立尾崎小学校体育館で開かれた。多くの子供たちは、ジャズの生演奏を楽しんだ。

このまつりは、川間地区子ども会育成者連絡協議会の主催で、小学一年生から六年生までが対象となっている。

今回は、ボランティアでジャズ演奏を披露した川口市立川口高校吹奏楽部OB手作りの空き缶の〝マラカス〟が登場＝写真。これには、思わず、見ていた親たちから盛大な拍手が送られた。